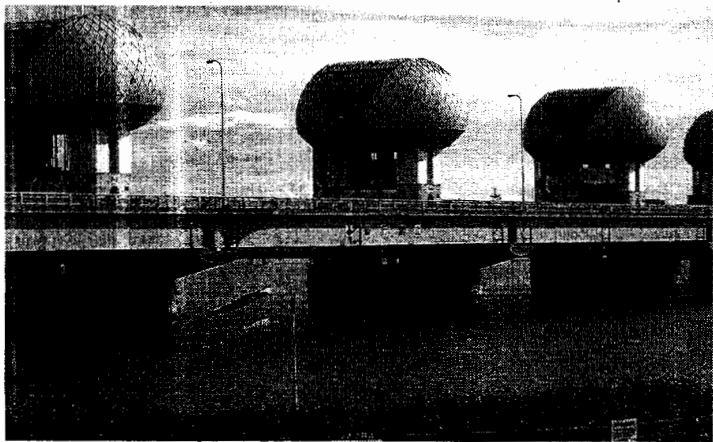


「堰も開放」高まる機運

政権交代でダム見直し

長良川河口堰(三重県桑名市)が本格運用を始め、六日で十五年。建設後も百八十七億円の巨額の維持管理費を投じた国や自治体は、洪水防止や渇水対策の効果を確認する。だが、水の需要は予測を大幅に下回り、生態系への深刻な影響も明らか。民主党政権の誕生でダム事業が見直される中、河口堰開放に向けた議論がにわかに熱を帯びてきた。(岐阜支社報道部・山本真嗣)

運用15年 長良川河口堰



雨による出水でゲートを全開中の長良川河口堰。三重県桑名市で

「開放に明確に反対された「河口堰に反対した党は一つもなかった」、長良川を守る岐阜連。時代が変わってき 県民の会」の集会。運

変化

三日、岐阜市で開か

「必要性 検証のとき」指摘も

菅委員長の加藤守さん(左)は、五月に主要五政党本部に送った公開質問状の結果を感慨深げに報告した。

核心

集会では、岐阜大の研究者らが河口堰運用

の賛否。衆参両選挙のたびに実施している。昨年の総選挙で一部開放に賛成した民主と、賛否を保留した公明は今無回答。反対だった自民は賛否を明確にせず、共産、社民は賛成した。

後、上流のヨシ原が削減したことやアユの漁獲が激減したこと、河口堰の工業用水が一滴に危機感を抱いていた長良川の七漁協は、堰を開放を国に求め、完全に破綻しており環

開放に向けた議論が高まりを見せる中、水も、しゅんせつ区間で八千立方メートルが流れた時管理に十五年間で百八十七億円がかけてら

- 1965年6月 ■木曾川水系水資源開発基本計画(フルプラン)に長良川河口堰を位置付け
- 73・3 ■金丸建設相が事業実施計画認可
 - 12 ■漁協関係者が建設差し止め訴訟提訴
 - 78・9 ■上松岐阜県知事が本休着工に同意
 - 81・3 ■建設差し止め訴訟取り下げ
 - 88・2 ■最後まで反対していた三重県赤須賀漁協など3漁協が着工に同意
 - 3 ■本休着工
 - 6 ■市民団体による反対運動が全国に広がる
 - 94・4 ■本休完成
 - 95・1 ■建設省と水資源開発公団が「環境への影響は少ない」と判断
 - 5 ■野坂建設相が本格運用の開始を決定
 - 7 ■本格運用開始
 - 98・9 ■愛知県民が同県知事らを相手取り、河口堰にかかる公金支出差し止め訴訟提訴
 - 99・2 ■三重県民が同県知事らを相手取り、河口堰にかかる公金支出差し止め訴訟提訴
 - 2000・8 ■民主党のネクストキャビネット(次の内閣)が「3年以内にゲート全面開放措置」との見解まとめる
 - 03・3 ■愛知県民の公金支出差し止め訴訟で最高裁で上告が棄却され、県側の勝訴確定
 - 05・3 ■国土交通省中部地方ダム等管理フォローアップ委員会(本部会)が「堰運用後の環境変化は安定。問題なし」と結論
 - 06・3 ■三重県民の公金支出差し止め訴訟で最高裁で上告が棄却され、県側の勝訴確定
 - 08・6 ■ゲートの全開操作中に1基が故障し、停止
 - 10・6 ■長良川下流域生物相調査団が「河口堰は長良川の生物多様性を損ねた」との最終調査報告書まとめる

また、治水機能についても、堰建設に伴うしゅんせつで洪水時の水位が低下したことを指摘。〇四年十月の台風23号による豪雨で、長良川で観測史上最高流量となった毎秒約

長良川河口堰 河口から5・4キロ地点の三重県桑名市に水資源開発公団(現水資源機構)が約1493億円をかけて建設。1995年7月6日に全ゲートを閉め、本格運用を始めた。治水と塩害防止、利

から河口堰に批判的。十月には名古屋市中生

から河口堰に批判的。十月には名古屋市中生

期待

昨年誕生した民主党

から河口堰に批判的。

効果

八千立方メートルが流れた時

出費

管理に十五年間で百八